

発言No.

22

受付No.

14

令和 3年 6月 10日

10時 16分 受付

一般質問発言通告書

議席番号 9番

氏名 野藤 薫

答弁を求める者

(○をつける)

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 浜田市の医療体制について

(1) 浜田医療センターの充実支援について

コロナ禍において、改めて県西部の高度急性期医療の拠点病院である浜田医療センターの重要性が増している。他県の感染拡大により医療センターへの通院や手術件数も増加しているようだ。国立病院機構の独立法人であるが、浜田市として出来る支援（応援）策について伺う。

① がん診療の実績数の増加について伺う。

浜田医療センターは2002年9月より県西部で唯一、国指定の地域がん診療連携拠点病院だ。公表している2016年からの症例報告ではがん治療数が年々増加している。浜田市のがん検診等の結果によるものなのか伺う。

② 産婦人科の医師、診療体制について伺う。

浜田、江津での分娩出産は浜田医療センターと済生会江津総合病院が担っている。分娩数は平成30年から減少し昨年は約350症例だ。浜田市はお産応援システムで協力体制を敷いているが、今後について伺う。

③ 診療科の充実について伺う。

浜田医療センターは29の診療科が開設されているが、大学病院などからの派遣も多いという。地域からは耳鼻咽喉科や乳腺科などの要望を聞く。ご所見が有れば伺う。

④ 新型コロナ感染症の感染拡大での支援策について伺う。

浜田市での感染者数は6月10日で30症例で医療センターの入院者数は公開されていないが、感染防止策はきちんとされている。陰圧テントは供与されたが、他の支援策が有れば伺う。

⑤ 看護学生への支援について伺う。

全国では病院付属看護学校から医療看護系の大学への希望が増えている。今年度は47名の入学があったが、浜田市は入学希望者への奨学金を設けたが現状について伺う。

(2) 新型コロナワクチン接種での市内医療機関との連携について

市内診療所での予約がなかなか取れないと市民からの声がある。集団接種が6月19日受付開始され、7月3日から接種が開始される。

① 集団接種の体制について伺う。

国は歯科医師、救急救命士、臨床検査技師も接種を行えるようにし、薬剤師が診断に協力出来るようにしたいと発表されたが、浜田市の体制について伺う。

② 今後の始まる一般接種への体制について伺う。

優先順位について自治体の判断だというのが、浜田市はどの様にされるのか伺う。

2. 浜田駅前の岩多屋跡地の活用と賑わいづくりについて

令和2年末駅前広場がリニューアルしたが、ほどなく本年3月浜田駅前の老舗岩多屋ビルが53年の幕を閉じた。浜田市の顔である駅前の再興にと商工会議所から5月に陳情が出された。このことは久保田市長への期待感であると考えている。

① 商工会議所の陳情に対する市長の考えについて伺う。

② 要望にある世代を超えた『集う場』としての活用について伺う。